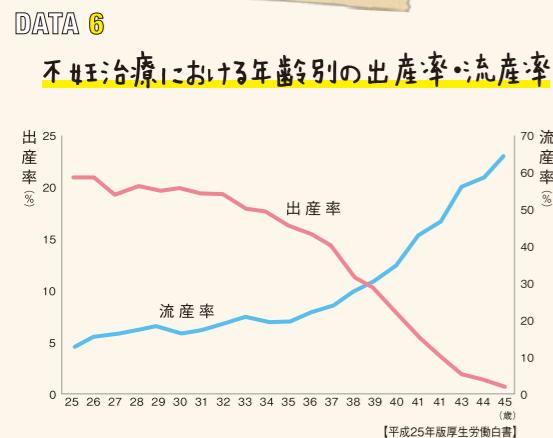
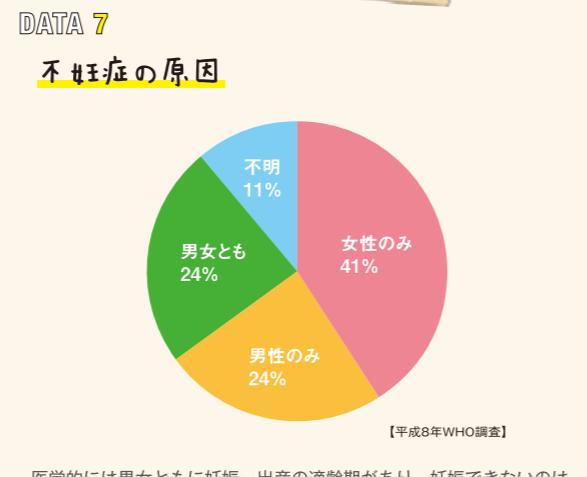




妊娠・出産 晩婚化の流れは妊娠・出産率にも大きく影響!?

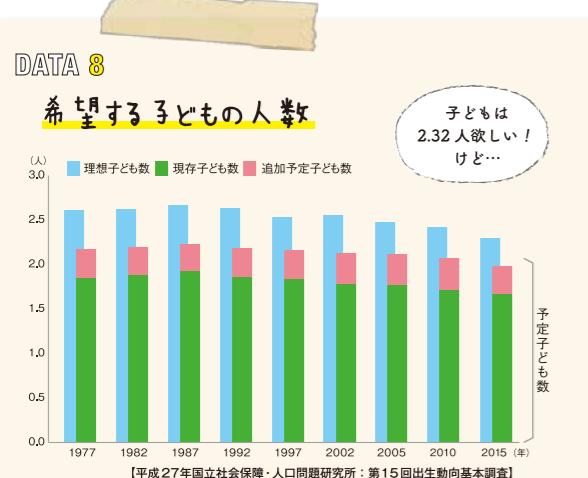


30歳を超えると女性が自然に妊娠する可能性は少しづつ低下し、35歳くらいから急激に低下します。これは卵胞が古くなることが大きな原因です。妊娠が成立したとしても、流産率が高くなります。



医学的には男女ともに妊娠・出産の適齢期があり、妊娠できないのは女性だけが原因ではありません。加齢や疲労、ストレスが多く溜まるなど不妊の原因になる場合もあります。

子育て ワーク&ライフのバランスが子育て環境を整えるカギ!?



将来欲しい子どもの数は2.32人、予定子どもの数は2.01人と、1977年から減少しており、晩婚化や晚産化により、各家庭にも“少子化”があらわれています。



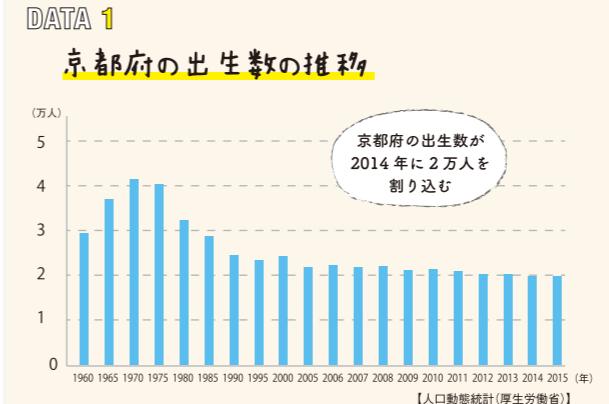
夫が家事や育児に協力的ほど第2子を設ける傾向に。妊娠・出産を機に男性も仕事と私生活のバランスや、タイムマネジメントを見直すことが京都の未来を救う？

データで見る これからの結婚・子育て・働き方とは?

みんなのライフ事情NOW

① 今のライフスタイル環境ってどうなってるの?

少子化 京都府の出生数・率ともに減少傾向。少子化が進む現状。



京都府における出生数が2014年に初めて2万人を割り込みました。2000年以降ゆるやかな減少傾向にあります。

*合計特殊出生率…15歳から49歳の女性の年齢別出産率を合計した指標。1人の女性が平均して一生に何人の子どもを産むかを示す。

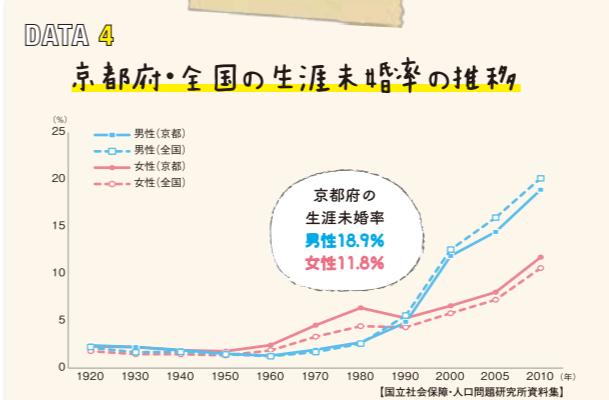


京都府の合計特殊出生率は、対前年比0.11ポイント増加し1.35(2015年)。全国ワースト2位→3位(順位は1ランクアップ)。京都府も全国も1970年以降減少傾向。

結婚 「結婚したい!でもいざれ…」特に京都の人は晩婚傾向!?

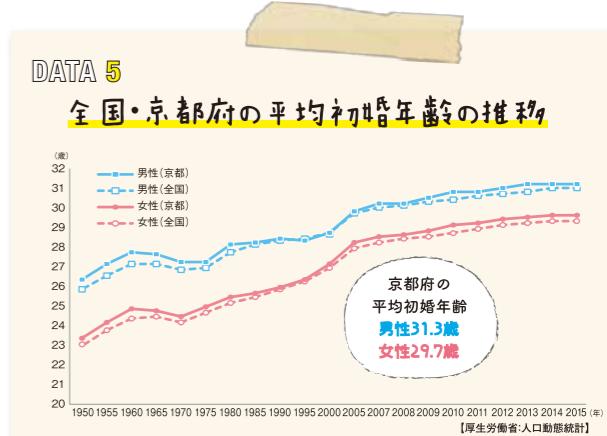


結婚意向は高いながらも、結婚したいタイミングに「経済的・精神的な余裕がない」「希望の相手との出会いがない」などのミスマッチも多い。



京都府の生涯未婚率
男性18.9%
女性11.8%

京都府の数値を1920年と比較すると、男性の未婚率は約10倍に増加。また、男女とも全国3位が高い結果で、2005年からの増加率が高い。



京都府の数値を1970年と比較すると、男性は4.0歳、女性は5.2歳も初婚年齢が遅くなっている。晩婚化はさらに進む。